令和6年度 富山県包括外部監査結果報告書 概要

包括外部監査人 公認会計士 柴 義公

1. 監査テーマ(選定した特定の事件)

外郭団体の経営状況と管理体制について

2. 選定理由

県には令和6年4月1日現在で、38の団体が外郭団体として設置されている。ここで外郭団体とは、自治体が出資している法人等で、自治体の行政活動を補完する機能を果たしている団体*1とされており、県民へのサービス提供において重要な役割を担っている。

また、県は外郭団体への出資、補助金、貸付などの支出による財政的関与や、職員の派遣、県職員OBの紹介等による人的関与を通じた関わりを持ち、特に2分の1以上を出資している24団体は県との結びつきが深いと考えられる。

さらに、昨今、富山県の行財政を取り巻く環境は大きく変化しているが、それに伴い、外郭団体の果たすべき役割もまた、設立当時と比べて変化してきているといえる。

こうした環境下において、外郭団体の事業が適切に遂行されているのか、その経営状況と管理体制について包括外部監査の視点から検討を行うことは、意義のあることと考え、特定の事件(テーマ)として選定した。

*1:「行政改革の断行-総括と今後-」(平成20年2月富山県行政改革推進会議)より引用

3. 監査の実施期間

令和6年7月1日から令和7年3月24日まで

なお、令和6年4月から6月まではテーマの選定、監査補助者の選任及び予備調査等を実施した。

4. 監査の対象期間

令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

ただし、必要に応じて令和6年度及び過年度についても対象とした。

5. 監査の方法

(1) 着眼点

- ① 外郭団体に対する県の指導・監督は適切に実施されているか
- ② 外郭団体の経営状況の点検および評価は適切に実施されているか
- ③ 外郭団体の内部における管理体制は適切に整備・運用されているか

(2) 手続

関連する法令等や資料の確認、外郭団体および外郭団体を所管する担当部署への調査(チェックリストの活用やアンケート、ヒアリングの実施)、経営指標等の数値分析を中心として実施した。なお、個別の監査対象として、次の 10 団体を選定している。

NO	法人名称	NO	法人名称
1	(公財) 富山県女性財団	6	(一財) 富山勤労総合福祉センター
2	(公財) 富山県文化振興財団	7	(公社) 富山県農林水産公社
3	(公財) とやま環境財団	8	(公財) 花と緑の銀行
4	(公財) 富山県健康づくり財団	9	(公財) 富山県民福祉公園
5	(一財) 富山会館	10	(公財) 富山県ひとづくり財団

6. 包括外部監査人及び補助者

包括外部監査人	柴 義 公	公認会計士・税理士
補 助 者	蒲 田 和 史	公認会計士・税理士
補 助 者	山 口 哲 也	公認会計士・税理士
補 助 者	梶 谷 昭	公認会計士・税理士
補 助 者	谷 口 明	公認会計士・税理士
補 助 者	近 藤 茂 之	公認会計士・税理士

包括外部監査の対象としたテーマについて、包括外部監査人及び補助者は、地方自治法第 252 条の 29 の規定による記載すべき利害関係はない。

7. 語句の説明

報告書において記載する「指摘」及び「意見」の定義は、以下のとおりである。

「指摘」

一連の事務手続等の中で、法令、条例、規則等に違反している場合(形式的な誤りを含む。)、あるいは違法ではないが社会通念上著しく適当でないと考えられる場合に該当する事項を記載している。

「意見」

一連の事務手続等の中で、組織及び運営の面で合理化に役立つものとして専門的見地から改善を提言する事項を記載している。

8. 監査結果(主な指摘及び意見)

(1) 外郭団体全体について

① 外郭団体の在り方について(意見)

県として、自らが出資者となり、外郭団体を設立していることの意義や効果について、定期的に検証することが必要と考えられる。以下のような団体については特に必要といえる。

- ・外郭団体を設立した当初の目的がすでに達成されている
- ・外郭団体の提供するサービスが住民のニーズに合わなくなっている
- ・外郭団体の事業が他の自治体や民間事業者が実施する事業と重複している
- ・県が自ら事業を実施するよりも、外郭団体に委託等することのほうが効率性や効果性が高まるなどのメリットが明確にできない

② 県の指導・監督体制について(指摘)

総務省の指針に照らすと、県の外郭団体の経営状況に対する評価が十分になされているとは言い難い。①への対応という観点からも、適切な評価を実施するべく、富山県立大学における取組み(中期計画および年度計画の策定とそれに対する評価の実施)や過去の行政改革の取組みなども参考にしつつ、外郭団体全体に対する評価を継続的に実施していくことが必要である。

③ 外郭団体の情報開示について(指摘)

総務省の指針に照らすと、外郭団体の議会や住民への情報開示は量的な点(経営諸指標や外郭団体への財政的支援内容など)、質的な点(分かりやすい説明など)で不十分であり改善が必要である。

④ 外郭団体のリスク管理について(意見)

外郭団体へのアンケートより、多くの外郭団体で「個人情報の情報漏洩への対応」、「コンプライアンスへの対応」、「災害への対策」といった項目がリスクとして認識されていた。外郭団体が個別に対応することは負担が大きく、知識や経験などの制約もあることから、県主導で県に整備されている内部統制体制などを参考にしながら、こうしたリスクに対応する仕組みを整備してはどうか。

⑤ 外郭団体における県職員 OB の採用について(指摘)

県では外郭団体からの求めに応じる形で退職者等の人材情報を提供している。その際の手続として、外郭団体からは「求人票」が提出されているが、OB 職員採用の必要性や理由等について記載が求められておらず、OB 職員の必要性が検討されているかどうかは明確になっていない。この点、明確にすべきである。

⑥指定管理者制度への対応について(意見)

県では民間事業者の新規参入機会の確保等を目的として、指定管理期間の短縮など対応を図っている。指定管理業務を行っている外郭団体では民間事業者との競合により一層さらされていくこととなるため、提供するサービス内容や業務運営の在り方について、必要に応じて、見直しや改善を図っていくことが望まれる。

(2)各外郭団体について

①会計管理について

会計管理に関して、「財務諸表の記載事項と財務諸表に対する注記の記載事項が整合していない」、「収入印紙使用簿の記載において残高合計を記載すべきところ、購入金額や使用金額が記載されている」などの誤りが見受けられた。

内容により「指摘」としたものと「意見」としたものがある。

下記一覧表の該当項目:「総-10」、「5-5」、「7-1」から「7-5」、「9-7」

②経営計画について

外郭団体へのアンケートより、多くの外郭団体で事業計画は策定されているものの、大半は単年度のものであり、富山県立大学のように複数年の事業計画を策定しているケースはごくわずかであった。

各外郭団体では指定管理者制度への対応や建物の老朽化、赤字・借入返済への対応、人員体制の整備など大きな課題を抱えている団体もある。こうした課題へ取り組むためにも、中長期的な経営計画の策定を検討するべきである。

内容により「指摘」としたものと「意見」としたものがある。

下記一覧表の該当項目:「総-9」、「1-1」、「1-3」、「5-1」、「6-1」、「9-4」、「10-2」

③契約事務について

検収調書が作成されていない事例や「再委託」に対する承認がなされていない事例などが見受けられた。規程等に基づき、適切に対応することが必要である。

内容により「指摘」としたものと「意見」としたものがある。

下記一覧表の該当項目:「総-5」、「1-7」、「6-2」、「6-3」、「9-5」、「9-8」、「9-9」

指摘・意見一覧(指摘 17 件、意見 33 件)

NO	監査対象	区分	内容
総-1	全 体	意見	外郭団体の在り方について
総-2	全 体	指摘	県の指導・監督体制について
総-3	全 体	指摘	外郭団体の情報の開示について
総-4	全 体	意見	外郭団体のリスク管理について
総-5	全 体	意見	随意契約について
総-6	全 体	指摘	外郭団体における県職員 OB の採用について
総-7	全 体	意見	外郭団体への県職員の派遣について
総-8	全 体	意見	県職員 OB の採用と県職員の派遣に関する異動について
総-9	全 体	意見	指定管理者制度への対応について
総-10	全 体	指摘	会計管理について
1-1	(公財) 富山県女性財団	意見	当財団と他団体の活動内容の一部重複について
1-2	(公財) 富山県女性財団	意見	有料施設に係る使用料金について
1-3	(公財) 富山県女性財団	意見	プロパー人財の一層の活用について
1-4	(公財) 富山県女性財団	意見	賛助会員の減少について
1-5	(公財) 富山県女性財団	意見	基本財産に関する定款の定めについて
1-6	(公財) 富山県女性財団	意見	とやまリッジサポートセンター事業に係る事務分担表の記載について
1-7	(公財) 富山県女性財団	意見	物品調達に係る内部統制の整備について
2-1	(公財) 富山県文化振興財団	意見	人員構成について
2-2	(公財) 富山県文化振興財団	意見	特定資産の設定目的について
3-1	(公財) とやま環境財団	指摘	電子帳簿保存法の対応について
4-1	(公財) 富山県健康づくり財団	意見	専務理事に対する報酬の取り扱いについて
4-2	(公財) 富山県健康づくり財団	指摘	電子帳簿保存法の対応について
4-3	(公財) 富山県健康づくり財団	意見	固定資産の取得手続きについて
5-1	(一財) 富山会館	意見	中長期の事業計画の策定(法人の在り方)について
5-2	(一財) 富山会館	意見	役職員の構成割合について
5-3	(一財) 富山会館	指摘	登記事項について
5-4	(一財) 富山会館	指摘	情報公開について
5-5	(一財) 富山会館	意見	貸倒引当金の計上基準について
6-1	(一財) 富山勤労総合福祉センター	指摘	法人全体の合理化について
6-2	(一財) 富山勤労総合福祉センター	指摘	検収調書の作成について
6-3	(一財) 富山勤労総合福祉センター	意見	業務委託費について
6-4	(一財) 富山勤労総合福祉センター	意見	計算書類について
7-1	(公社) 富山県農林水産公社	意見	分収造林の減損処理の検討について

NO	監査対象	区分	内容
7-2	(公社) 富山県農林水産公社	意見	分収造林の回収可能見込額等の注記について
7-3	(公社) 富山県農林水産公社	意見	会計規程における重要な会計方針の記載について
7-4	(公社) 富山県農林水産公社	意見	現物照合結果の記録・報告について
7-5	(公社) 富山県農林水産公社	指摘	貸倒引当金の算定方法について
8-1	(公財) 花と緑の銀行	意見	指定管理契約の形態について
8-2	(公財) 花と緑の銀行	指摘	ウッドデッキの修繕について
9-1	(公財) 富山県民福祉公園	意見	理事の構成について
9-2	(公財) 富山県民福祉公園	指摘	理事の理事会等への出席について
9-3	(公財) 富山県民福祉公園	指摘	副理事長の選定について
9-4	(公財) 富山県民福祉公園	意見	中長期の経営計画の策定について
9-5	(公財) 富山県民福祉公園	指摘	修繕工事の分割発注について
9-6	(公財) 富山県民福祉公園	指摘	資金運用の決裁について
9-7	(公財) 富山県民福祉公園	意見	現物照合結果の記録・報告について
9-8	(公財) 富山県民福祉公園	意見	委託業務に係る料金積算における諸経費率について
9-9	(公財) 富山県民福祉公園	指摘	再委託に対する承認について
10-1	(公財) 富山県ひとづくり財団	意見	「夢の卵」育成事業について
10-2	(公財) 富山県ひとづくり財団	意見	建物の老朽化と今後の方針について

【参考:外郭団体へ実施したアンケート】

団体名 _____

所管課 _____

1. 事業について	
1	当該外郭団体の設置目的について教えてください
2	事業内容および経営目標について教えてください
3	県の施策と当外郭団体の事業内容との関連性を教えてください(県の施策のどのような部分を担っているのか)
4	当該外郭団体で実施している事業について、県が直接実施せず、あえて出資して外郭団体を設立し、そこにやらせている意義を教えてください
5	設置目的や経営目標を達成するための事業計画(経営計画)を作成されていますか
6	事業計画(経営計画)を作成されている場合、①計画の期間、②進捗状況の検証の実施状況を教えてください
2. リスク管理について	
1	当該外郭団体の運営においてどのようなリスクや課題があると認識されているのか教えてください
2	特に内部管理体制について課題や問題点があれば教えてください
3	特に財務上の課題があれば教えてください(収入不足、赤字、債務超過、借入の返済が困難など)
4	認識されているリスクや課題についてどのような対策(内部統制の整備運用など)を実施されているのか教えてください
3. その他の課題	
1	国・地方自治体からの指導事項(たとえば富山県、労働基準監督署、税務署など)があれば教えてください
2	訴訟案件、弁護士に相談している事項があれば教えてください